

◎ 平成29年度 第2回研修会のお知らせ ◎  
大型蓄電池実証事業及び水素サプライチェーン実証事業見学会  
(CPD 対象)

水素エネルギーは、今まさに「国家プロジェクト」として産学官を挙げて実用化に向けて様々な取組みが行われております。その一例として鹿追町は、これまで家畜糞尿からバイオガスを抽出し、発電利用や熱利用の可能性、液肥の農地還元について取り組まれておりました。これまでのノウハウを応用し、バイオガス由来の水素利用として水素サプライチェーンの構築について取り組み、様々な実証試験を行われております。

一方、水素は水から作られ再び水に戻るという合理的な性質を利用して「水素社会」の構築を考えた場合、大量の水素を水から作り出すことが必要となり、膨大な電気エネルギーが必要となります。水素を作るために火力や原子力などの既存の発電設備で発電した電力に頼らざるおえない事態にもなりかねません。このため、エネルギーを貯める「蓄エネ」を水素のみに頼るのではなく、電力をそのまま蓄電する大型蓄電池との併用も考慮して、その開発を同時進行させることも必要と考えられます。

本年度の施設見学会は、大型蓄電池の実証事業を行っている「南早来変電所」と、バイオマス由来水素を活用した水素サプライチェーンの実証事業を行っている鹿追町の「水素ファーム」の2件を見学し、両者の実証試験状況を視察し、それぞれの利点や問題点などを見学したいと思います。

●南早来変電所大型蓄電システム（レドックスフロー電池）実証事業

本事業の目的は、基幹系統の変電所に大型蓄電池を設置し、再生可能エネルギーの出力変動に対する新たな調整力としての性能実証および最適な制御技術を確立することを目的に進められ、大型蓄電システムは2015年12月に完成し現在は実証試験を行っています。

●水素サプライチェーンの実証事業

家畜ふん尿のメタン発酵施設である鹿追町環境保全センターからバイオガスの供給を受け、センター敷地内に水素の製造・供給施設である「しかおい水素ファーム」を設置し水素ガスを製造します。地域の再生可能エネルギーや未利用エネルギーを活用し、水素を精製、製造、貯蔵、輸送、供給、利用するという一貫した水素エネルギーのサプライチェーンを実証し、地球温暖化対策に資する低炭素水素を寒冷地において本格利用するための課題を明らかにするとともに、地産地消の水素エネルギー社会の実現に向けて積極的に展開することを目的としております。

施設見学会終了後は、恒例の意見交換会を行います。熱が冷めやらぬ内に、見学先で得た知見を膨らませ、水素社会の実現等の話題で意見交換を行いたいと考えております。

皆様、奮ってのご参加をお待ちしております。

## ■開催日時

平成 29 年 08 月 25 日（金）08：00～17：30

## ■当日の日程

- 07：45 札幌駅北口集合（受付は北口バス乗り場、富士バスにて）  
08：00 札幌駅北口出発  
札幌北 IC～追分 IC  
09：15 南早来変電所着  
レドックスフロー電池見学：1 時間  
10：15 南早来変電所発  
追分 IC～十勝清水 IC  
12：00 清水町 昼食会場着（ドライブインいとう）  
昼食：12：00～13：00  
13：00 清水町 昼食会場発  
13：30 鹿追水素ファーム着  
定置式水素ステーション・燃料電池利用施設：1.5 時間  
15：00 鹿追水素ファーム発  
十勝清水 IC～札幌北 IC  
17：30 札幌駅北口着・解散 18：00 より意見交換会

## ■会費

施設見学会（会員：2,000 円／人、会友・非会員：2,500 円／人）

意見交換会 4,000 円／人（札幌駅北口周辺）

## ■申込み期日

平成 29 年 08 月 18 日（金）

## ■申込み先

下記の申込み内容をメール又は FAX にてお申込み下さい。

リージョナルステート研究委員会 水素・循環システム研究分科会

岩本達也（池田煖房工業(株)）宛て

E-mail：t\_iwamoto@ikedan.co.jp

TEL：011-726-1145、FAX：011-726-1158

## ■申込み内容

氏 名：

所 属：

連 絡 先：

会 員 区 分：①日本技術士会会員、②北海道本部会友、③非会員

参 加 区 分：A.見学会のみへ参加、B.見学会・意見交換会の両方へ参加

以下は、損害保険加入の為の必要事項です。 ※必ずお知らせ願います。

自 宅 住 所：

自 宅 電 話 番 号：

生 年 月 日：